

項目	内容
名称	デキストリン [英]Dextrin [学名]Dextrin
概要	<p>デキストリンは、デンプンを化学的、あるいは酵素的な方法により低分子化したものの総称である。食品としての利用は、マルトデキストリン (グルコース8-12個のポリマー) が良く知られている。マルトデキストリンはデンプンより低分子であることから消化されやすく、吸収されやすいと考えられている。一方、デキストリンを焙焼し、酵素 (<math>\alpha</math>-アミラーゼまたはグルコアミラーゼ) で分解して難消化性部分を分離精製したものは難消化デキストリンと呼ばれ、小腸では分解されない難消化性の食物繊維として使われる。</p>
	<p>■ <b>食薬区分</b> 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</p> <p>■ <b>日本薬局方</b> ・デキストリンが記載されている。</p> <p>■ <b>食品添加物</b> ・既存添加物 シクロデキストリン (サイクロデキストリン/分岐サイクロデキストリン/分岐シクロデキストリン/環状オリゴ糖) : 製造用剤</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・デンプンを化学的、あるいは酵素的な方法で低分子化したものの総称。工業的にデキストリンと言われるものは、塩酸などの存在下、粉末状態で高温加熱して得られる水溶性の焙焼デキストリンをさす場合が多い。可溶性デンプンは希塩酸で短時間加熱して低分子化した白色デキストリンの一種である。グルコースが6、7、8個環状に結合したものを、それぞれ<math>\alpha</math>-、<math>\beta</math>-、<math>\gamma</math>-シクロデキストリンと呼んでいる。シクロデキストリンは種々の低分子有機化合物と包接物を作るので医薬品や香料などの分子カプセルとしての用途がある。</p>
分析法	<p>・示差屈折計を装着したHPLC法により分析されている (101)。</p>

## 有効性

ヒ	循環器・	調べた文献の中に見当たらない。
ト	呼吸器	
での 評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

---

参考文献

(101) (公財) 日本健康・栄養食品協会：特定保健用食品試験検査マニュアル  
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)

---